

市議報 2022 丸山哲平 市議会 報告

2022年3月発行



国分寺市議会議員 丸山哲平です。2月18日から3月22日まで市議会第1定例会が開催されました。本定例会では、私が以前より提案してきた電子図書館サービスや小学4年生の学童保育所受入れ試行実施等を含めた令和4年度当初予算が賛成多数で可決されました。今回は令和4年度予算概要を中心に報告させて頂くと共に、ロシアによるウクライナ侵攻を受け行ったウクライナの方々への人道支援活動についてもお伝え致します。

プロフィール：1981年5月26日生まれ 家族：妻、長女、長男
 みふじ幼稚園、国分寺市立第五小学校、国分寺市立第一中学校、
 早稲田大学高等学院、早稲田大学法学部、三井物産株式会社、公益財団法人 松下政経塾を経て、
 2015年4月より国分寺市議会議員（現在2期目）
 所属：新庁舎建設等特別委員会（委員長）、建設環境委員会、議会運営委員会

令和4年度一般会計・特別会計予算が可決・成立しました

予算の概要

*裏面の令和4年度予算における国分寺市の主な取組みもご参照下さい。

一般会計予算	総額：503億 5,705万円
特別会計予算	総額：237億 5,276万 4千円
合計	総額：741億 981万 4千円

- ◆ 一般会計予算総額は前年度比で18億3,908万2千円(△3.5%)の減(過去2番目の規模)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても個人所得は例年並みが見込まれるとして、市税収入は全体で9億290万円(+3.9%)増の238億4,535万2千円を見込む。
- ◆ 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は扶助費等の増加を理由として悪化の見込み(97.5%)。一方市債残高や基金残高は厳しい経済環境にあってもほぼ横ばいを維持、財政規律を堅持する見込み。
- ◆ 歳出においては児童福祉や高齢者福祉等に要する経費である民生費が一貫して増加、令和4年度には251億円(全体の49.8%)に達する見込み。

予算に対する評価・賛否と今後に向けて

- ◆ 令和4年度予算は財政規律を堅持しながらも、行政のデジタル化等の新規の取組みも多く取り入れた市民福祉と利便性の向上に資するバランスの取れた予算案と評価。賛成致しました。
- ◆ もっとも将来を楽観視は出来ません。今回、令和9年度までの6年間の歳入と歳出の見込額を示す財政フレームが資料として出されました。その中で歳入の約半分を占める市税収入は令和9年度に減少に転じる試算となっています。つまり今後財政規模縮小も十分有り得ることとして、新規財源を如何に確保するか、公共が担うべき仕事、必要な歳出とは何かという「そもそも」を問うことが今まで以上に求められるということです。今後も民間経験・感覚を活かし持続可能な市政実現に正面から取組みます。

国分寺市 新型コロナウイルス関連情報はこちら

国分寺市 HP にて日々更新・発信されています。

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1008592/1022636/index.html>



SNS はじめました

Follow me!

facebook



Instagram



twitter



令和4年(2022年)度予算における国分寺市の主な取組み(一部抜粋)

誰一人取り残さない、ひとにやさしいまちづくり

高齢者肺炎球菌ワクチン任意予防接種の助成拡充
→回数制限を撤廃、前回接種から5年経過ごとに助成

移動販売等による買物困難者の支援
→公民館等で商工会実施の移動販売車での出張販売を支援

武蔵国分寺公園隣接地に「インクルーシブ公園」整備
→障害の有無にかかわらず誰もが支え合い遊べる場を整備

骨髄移植等で免疫消失した方に予防接種の再接種費用助成
→骨髄移植等に伴い再接種が必要と医師に認められた方に助成

デジタル機器活用による高齢者の地域参加促進
→デジタル機器の操作講習会拡充、デジタルデバイス解消へ

障害のある方の外出支援ガイドヘルパーの養成研修の実施
→同行援護と移動支援を利用しやすくすることで、障害のある方の自立した生活や余暇活動の社会参加を支援

キャッシュレス決済ポイント20%還元事業実施
→市内事業者と市民生活を応援、令和4年7月実施

国分寺跡史跡指定100周年記念事業

武蔵国分寺跡史跡指定100周年記念事業の推進
→オープニングイベント(4月)、特別企画展示事業(7月~2月) 記念講演会事業(10月)等、年間を通じて事業を実施

歴史公園整備の推進
→史跡地の南門地区に整備対象エリアを移し、順次整備推進

安心して産み、育ち、学ぶことができるまちづくり

義務教育就学児医療費助成制度の所得制限を撤廃
→令和4年10月より中学3年生まで所得制限撤廃、助成を拡大

ヤングケアラー支援に向けた啓発事業実施
→支援者や関係機関を対象とした講座等実施、支援体制を整備

丸山が提案→実現!



小学校4年生の民設民営学童保育所受入れを試行実施
→低学年児童の申込み後に空きのある7施設にて試行実施

未来につながる持続可能なまちづくり

新庁舎建設工事に着手(令和4年12月~)
→発掘調査と実施設計の後に着工、令和6年度竣工を目指す

ゼロカーボンシティ宣言、脱炭素社会の推進
→2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す 友好都市とのカーボンオフセット事業等を検討

災害に負けない、安心して過ごせる避難所の構築
→学校体育館に無線LAN環境・LED照明を整備

丸山が提案→実現!



電子図書館(デジタル図書館)の開始

→インターネットを通じ場所や時間に制限されることなく 利用が可能で令和4年6月頃より400タイトルでスタート



TOPICS ウクライナへの人道支援活動 国連 UNHCR 協会訪問・募金活動

ロシアによるウクライナ侵攻は、いかなる理由を述べようとも、力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為としてこれを認めるわけにはいきません。

現在多くのウクライナの方々がかつての危機に瀕している状況に対し、少しでも助けになればとの思いで3月18日(金)国分寺市議会の正副議長と共に**国連 UNHCR 協会(国連難民高等弁務官事務所)**を訪問、国分寺市議会議員互助会として**義援金**をお渡しさせていただきました。

また自民党国分寺市議団と松本洋平代議士共同で**募金活動**を3月20日(日)国立駅北口にて行いました。

多くの方からお声がけと募金のご協力を頂いたこと心から感謝申し上げます。なお募金は全額、日本赤十字社を通じて現地に送られ支援に活用されます。

本問題は日本にとり決して対岸の火事ではありません。**改めて外交・安全保障の現実的なあるべき姿を議論し、政策に反映させる必要があると考えます。**



田中 政義 議長と共に国連 UNHCR 協会にて



国立駅での募金活動 松本代議士と共に

お問い合わせ・連絡先 **丸山哲平 事務所**

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 2-20-9
TEL:042-806-9813 FAX:042-806-9877
E-Mail: info@teppei-maruyama.jp
HP: http://www.teppei-maruyama.jp

市議報 2022 **丸山哲平** 市議会 報告

発行人 丸山哲平事務所